

2022年8月17日

クラレトレーディング株式会社

2022年12月期第2四半期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 武司
問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 尾古 雅章
: (TEL) (06) 7635-1624

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

	当第2四半期累計期間 (2022年1月~2022年6月)		前第2四半期累計期間 (2021年1月~2021年6月)		増減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取扱高	74,377	-	69,137	-	+5,240	+7.6%
売上収益	29,705	-	(25,609)	-	(+4,095)	(+16.0%)
営業利益	2,776	3.7%	2,326	3.4%	+450	+19.4%
経常利益	2,734	3.7%	2,359	3.4%	+374	+15.9%
四半期純利益	1,942	2.6%	1,672	2.4%	+270	+16.2%

(注) 2022年12月期より当社の100%出資現地法人であるクラレトレーディングベトナムを連結対象に加えており、当社の連結子会社は、可樂麗貿易(上海)有限公司、クラレトレーディングベトナムの2社となっています。
(前年の連結経営成績には、クラレトレーディングベトナムを含んでいません)

(2) 単体経営成績(累計)

	当第2四半期累計期間 (2022年1月~2022年6月)		前第2四半期累計期間 (2021年1月~2021年6月)		増減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取扱高	70,504	-	68,147	-	+2,356	+3.5%
売上収益	20,363	-	(18,569)	-	(+1,794)	(+9.7%)
営業利益	2,221	3.2%	1,952	2.9%	+269	+13.8%
経常利益	2,151	3.1%	1,964	2.9%	+186	+9.5%
四半期純利益	1,504	2.1%	1,376	2.0%	+127	+9.3%

※当社は、2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

当該基準適用前(旧基準)での売上高に相当する金額を「取扱高」、当該基準適用後の売上高に相当する金額を「売上収益」として表示しています。

前第2四半期累計期間における「売上収益」(括弧書き)は、当該基準を適用した場合の金額を参考値として表示しています。

2. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）は、繊維関連はウェアラブル等のスポーツ衣料を中心に販売を拡大し、化学品・化成品はアジア市場での販売が順調に推移しました。この結果、当社の経営成績は、取扱高は74,377百万円（前年同期比5,240百万円増、7.6%の増収）、売上収益は29,705百万円（同4,095百万円増、16.0%の増収）、営業利益は2,776百万円（同450百万円増、19.4%の増益）、経常利益は2,734百万円（同374百万円増、15.9%の増益）、当期純利益は1,942百万円（同270百万円増、16.2%の増益）となりました。

セグメント別は以下の通りです。

以下< >の中の名称は(株)クラレの商標です。

【繊維関連】 (増収増益)

取扱高は21,987百万円（前年同期比2,150百万円増、10.8%の増収）、営業利益は1,123百万円（同280百万円増、33.3%の増益）となりました。

(衣料分野)

- 製品販売は、スポーツ衣料を中心に堅調に推移しました。
- スポーツ用途は、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向け販売が順調に拡大し、増収増益となりました。
- ユニフォーム用途は、サービス業向けは堅調もワーキングウェア向けが苦戦し、減収減益となりました。
- 原糸販売および一般衣料向け生地販売は、一部不採算分野の縮小を進め、収益が改善しました。

以上の結果、衣料分野は増収増益となりました。

(資材分野)

- メディカル用途は原料コストアップにより収益が悪化しましたが、その他の資材関連は堅調に推移しました。
- 人工皮革<クラリーノ>は、自動車シートやスポーツ手袋用原反が好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、資材分野は取扱高は横ばい、利益は増となりました。

【樹脂・化学品・化成品関連】 (増収増益)

取扱高は52,390百万円（前年同期比3,090百万円増、6.3%の増収）、営業利益は1,654百万円（同171百万円増、11.5%の増益）となりました。

- アジア市場での販売が順調に推移しました。

(2) 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

期後半も原燃料価格の高騰や物流およびサプライチェーンの混乱等の影響が続く上に、急激な為替変動、地政学リスク等により先行き不透明な状況が続くと予想されます。このような状況を踏まえ、通期の業績については以下の通り修正します。

(億円)

	取扱高	売上収益	営業利益	経常利益	当期純利益
年初公表 (2022年2月15日)	1,450	580	50	50	35
今回公表	1,500	600	53	53	37

<注記> 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上